

第5回社団法人日本独文学会総会・春季研究発表会のご案内

会員各位

2023年4月吉日
日本独文学会

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

来る6月3日(土)、6月4日(日)の両日、明治大学駿河台キャンパスにおきまして、第5回社団法人日本独文学会総会・春季研究発表会を開催いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。研究発表会のプログラムは本ファイルに掲載してあります。

本研究発表会ではプログラム冊子の配布を行いません。当日は、本ファイルを印刷ないしは電子データとして閲覧可能にしてご持参ください。

参加費：会員 1,500 円，学生会員 1,000 円，非会員（含む学生） 2,000 円
参加費は事前にお振込みください。詳細は別途、学会ホームページにてご案内いたします。

Bekanntmachung der 5. Vollversammlung und der Frühlingstagung der JGG e. V.

Liebe Mitglieder der JGG,

die 5. Vollversammlung und die Frühlingstagung der Japanischen Gesellschaft für Germanistik e. V. finden am 3. und 4. Juni 2023 an der Meiji Universität (Surugadai-Campus) statt. Wir freuen uns auf Ihre Teilnahme. Das Programm der Tagung finden Sie auf den folgenden Seiten.

Da es dieses Mal keine Print-Version des Programmheftes gibt, empfehlen wir, das Programm ausgedruckt oder in digitaler Form auf einem Ihrer Geräte mitzubringen.

Teilnahmegebühr:

- JGG-Mitglieder 1.500 Yen,
- JGG-Mitglieder (Studierende) 1.000 Yen,
- Nicht-Mitglieder (inkl. Studierenden) 2.000 Yen

Die Teilnahmegebühr ist im Voraus zu überweisen. Näheres wird auf der Homepage der JGG bekanntgemacht.

日本独文学会
春季研究発表会

2023年6月3日（土）・6月4日（日）

第1日 午前10時より

第2日 午前10時より

会場 明治大学 駿河台キャンパス
リバティタワー

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
E-Mail: tagung2023meiji@jgg.jp

参加費

会員 1,500 円

学生会員 1,000 円

非会員（含む学生） 2,000 円

※参加費は事前に振り込んでください。

当日受付で支払う場合は一律 2,000 円になります。

日本独文学会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6 南大塚エースビル 603

Tel./Fax: 03-5950-1147

E-Mail (メールフォーム) : <http://www.jgg.jp/mailform/buero>

第1日 6月3日(土)

開会の挨拶(10:00~10:05)

A会場(1103教室)

明治大学 渡辺 学
会 長 井出 万秀

日本独文学会総会(10:05~11:30)

A会場(1103教室)

日本独文学会・DAAD 賞授賞式(11:40~12:10)

A会場(1103教室)

ドイツ語学文学振興会賞授賞式・総会(12:15~13:15)

A会場(1103教室)

ドイツ語教育部会総会(12:45~13:15)

B会場(1106教室)

シンポジウム I(14:30~17:30)

A会場(1103教室)

近現代ドイツ抒情詩の「話者」再考——「リュリコロジー」の批判的受容に基づくケーススタディ

司会：小野寺 賢一

1. シュテファン・ゲオルゲ「前奏曲」における「天使」の詩学的機能
小野寺 賢一
2. ゲオルク・トラークル『選集 1909』における「抒情詩の〈私〉」の創造と解体
日名 淳裕
3. パンク詩人としてのロルフ・ディーター・ブリンクマン 川島 建太郎
4. ルッツ・ザイラー『ペヒ&ブレンデ』における一人称代名詞の再帰的・演技的な身体性
金 志成

シンポジウム II (14:30~17:30)

B会場 (1106 教室)

『エリザベト』変容 —「死の舞踏」vs「愛と死のロンド」— 翻案ミュージカルの在り方をめぐって

司会：関根 裕子

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. ウィーン版「死の舞踏」 vs 日本版「愛と死のロンド」 | 関根 裕子 |
| 2. 日本における海外ミュージカル | 渡辺 芳敬 |
| 3. タカラヅカ版『エリザベト』の特徴 | 中本 千晶 |
| 4. 舞台・DVD 製作現場における翻訳の問題点 | 高島 勲 |

口頭発表：文学 I (14:30~16:25)

C会場 (1113 教室)

司会：竹内拓史・畑一成

- | | |
|--|-------|
| 1. レッスン『ラオコーン』における自然模倣文学の否定 | 江口 大輔 |
| 2. ゲオルク・ビューヒマン『翼のある言葉』初期の編集史 | 佐伯 啓 |
| 3. 隠者たちの白日夢 ——E. T. A. ホフマンによるノヴァーリスの批判的受容 | 清水 恒志 |

ブース発表 I (14:30~16:00)

(ブース発表は途中での出入り自由です)

D会場 (1114 教室)

Lernendenzentrierter Unterricht mit Portfolioarbeit

Nancy Yanagita

(共同発表者：Maria Gabriela Schmidt, Christian Steger,
Martina Gunske von Kölln, Cezar Constantinescu)

ブース発表 II (16:30~18:00)

(ブース発表は途中での出入り自由です)

D会場 (1114 教室)

オンライン教材を用いた発音指導および評価の方法について—学習者のワークシート分析から

中川 純子

(共同発表者：立川 睦美)

ポスター発表 (13:00~14:30)
(ポスターは期間中を通じて掲出されています)

E会場 (1116教室)

Was können auf YouTube verfügbare Grammatik-Erklärvideos für den institutionellen
Deutschunterricht in Japan leisten? Axel Harting

ドイツ語教育部会
「大学ドイツ語入試問題検討委員会」展示 (13:00~17:00)

F会場 (1118教室)

第2日 6月4日 (日)

シンポジウム III (10:00~13:00)

A会場 (1103教室)

ドイツ語授業における文法規則の明示的指導の役割

司会：境 一三

1. ドイツ語授業における文法の扱い—第二言語習得研究および外国語教育論
の視点から 太田 達也
2. ドイツ語学習者は文法学習をどのように捉えているのか
—コミュニケーション型授業における学習者の自己評価と文法学習の方法
梶浦 直子
3. ドイツ語授業における文法の扱い—教科書・参考書の執筆者の立場から
清野 智昭
4. 文法の学び方をリセットする—コンセプトと実践 草本 晶

シンポジウム IV (10:00~13:00)

B会場 (1106教室)

「ペストとドイツ文学——ヨーロッパ文化史の中で再考する」

司会：関口 裕昭

1. 「ペストとドイツ文学——ウィーン文化史を中心に」 関口 裕昭
2. 「デフォーと『ペストの記憶』」 原田 範行
3. 「ゴットヘルフ『黒い蜘蛛』とペスト」 田村 久男

4. 「シュティフター『瀝青焼き職人』と『御影石』における改作とペストの記憶」
出縄 祐介
5. 「ホフマンスタール『バッソソニエール元帥の体験』における愛と死」
関根 裕子

口頭発表：文学 II (10:00~12:35)

C会場 (1113 教室)

司会：広沢絵里子・Tobias Schickhaus

1. 「審美主義と野蛮の近接性」を求めて——トーマス・マン『ファウストゥス博士』におけるニーチェ批判とアドルノ音楽論の交点
渡邊 能寛
2. 初期ベンヤミンの女性像 —『親和力』論におけるジンメル『ゲーテ』批判を手がかりに
寒河江 陽
3. Wut – Wahnwitz – Viren. Elfriede Jelineks Kritik des Opfer-Kults
Herrad Heselhaus

口頭発表：ドイツ語教育、文化・社会 (10:00~11:55)

D会場 (1114 教室)

司会：Susanne Schermann・水野真紀子

1. Ich denke, was ich bin. Wie die Einstellung zu sich selbst die Lernmotivation beeinflusst.
Frank Nickel
2. *Gendern* im Deutschunterricht: Eine Umfrage unter DaFLehrenden in Japan
Ruben Kukulinski
(共同発表者：Ralph Degen, Elvira Bachmaier)
3. ヘッセの出版企画と日本へのまなざし—『日本の物語』から見る一側面
田中 洋

ポスター発表

(ポスターは期間中を通じて掲出されています)

E会場 (1116 教室)

閉会の挨拶 (13:00~13:10)

A会場 (1103 教室)

秋季研究発表会ご案内 京都支部 今井敦
明治大学 富重 与志生

研究発表会期間中、上記のプログラムに加えて、書店・出版社等による書籍展示が行われます。

交通と会場のご案内

研究発表会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー10階・11階
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

最寄り駅：JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線「御茶の水」駅
東京メトロ千代田線「新御茶の水」駅
都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅
徒歩約3～5分

Informationen zum Tagungsort

Die Tagung findet auf dem Surugadai-Campus der Meiji Universität (in „Liberty Tower“, 10. u. 11. Stock) statt.

Adresse: 1-1 Kanda-Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo 101-8301

Die nächstgelegenen Bahnhöfe:

Ochanomizu (JR Chuo-Linie, Sobu-Linie, Tokyo-Metro Marunouchi-Linie)

Shin-Ochanomizu (Tokyo-Metro Chiyoda-Linie)

Jimbocho (Toei-Mita-Linie, Toei-Shinjuku-Linie, Tokyo-Metro Hanzomon-Linie)

Nähere Informationen unter URL:

<https://www.meiji.ac.jp/cip/english/about/campus/surugadai.html>

アクセスマップ / Standort



(明治大学 HP より抜粋。 https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html
https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html)